

# 令和6年度事業報告書

社会福祉法人 三峰福祉会  
特別養護老人ホーム 黎明館  
短期入所生活介護事業所 黎明館

## 【基本理念】

当法人は、下記の理念に基づいて事業運営にあたった。

### 『信頼される真心のこもった介護サービスの提供』

#### 〔特別養護老人ホーム〕

本年度、特別養護老人ホーム黎明館の事業運営においては、基本理念『信頼される真心のこもった介護サービスの提供』に基づき、明るい雰囲気作りを図るとともに、入居者にとって安全で快適な生活環境とするべく支援にあたった。また、入居者の意向を尊重し、日常生活上必要な諸サービスの充実を図るとともに、家族との連携を重要視したサービスの提供に努めた。

また、行政機関、各居宅介護支援事業所、介護保険施設との連携を図る事により、新規申し込み者の開拓にも努めた。

#### 〔短期入所生活介護〕

本年度、短期入所生活介護事業所黎明館事業運営においては、コロナ対策及び人材確保等の問題により受け入れ人数を制限する形で運用を図った。

新型コロナウイルス感染症の館内流行等もあり、年度利用率は0.08%だった。

## 【年度重点目標に関する評価】

### ① 個別ケアへの取り組みについて

例年継続して排泄等個別ケア介護全般に渡って取り組んでいるが、まだ入居の方々の状況に応じた個別ケアへの支援が十分に行えている状況ではない。次年度も継続して個別の支援が実践できるよう努めていく。

### ② 各種委員会活動の活性化

各種委員会活動については、各委員会の委員長を中心に様々な活動を行った。特に感染症対策委員会は産業医、嘱託医の助言を得つつ感染予防策を講じたが、新型コロナウイルスの流行継続により、面会制限等の諸対策を継続した。令和6年度にもクラスターの発生があった。

最後に、令和6年度より生産性向上に関する委員会の設置が義務付けられた。今年度は委員会運営に関する指針を作成したところだが、本格的な運用に向けて準備を進めていく。

### ③ 身体拘束廃止に向けた取り組み

身体拘束については、あくまで拘束ゼロの考えから、拘束をせず・させずを基本とした。ただし、生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合、切迫性、代替性、一時性を確認した上で家族へ説明し、同意を得、外部委員の意見を付した上で行動制限を行った。

④ マネジメント機能の充実

ケアプランは全てのサービス提供の根幹となる事から、本年度もプランの内容及び実践に関する充実を図ってきた。

また、入居時のカンファレンス、入院後の退院時カンファレンス、状態変化時にもカンファレンスを開催し、本人希望のみならず家族の意向も確認できるよう努めた。

⑤ 自主性の尊重

業務全般に渡って、自主性は必要不可欠なものであり、各職員が目標を持って積極的に業務に取り組むべく支援にあたった。

⑥ 介護サービス苦情対応について

令和6年度における介護サービスに関する苦情受け付けについては、特になかった。報告事例がなかった主な要因としては、感染症予防のため面会が面会室までであった事等があげられる。

## 【年間行事報告】

月	行事計画
4	桜花見
5	しょうぶ湯、ふれあい会総会(中止)
6	物故者慰霊祭、運動会
7	
8	
9	敬老祝賀会
10	紅葉見物
11	
12	クリスマス・忘年会
1	年賀式、鏡開き、初詣、新年法話(中止)
2	節分豆まき
3	雛祭り、創立記念日祝賀会
月例行事	野外活動、喫茶、懇談会、誕生会

## 年間利用状況

### 1. 特別養護老人ホーム

#### ① 利用状況推移調べ

月	延べ人数 (R5)	延べ人数 (R6)	利用率 (R5)	利用率 (R6)	平均利用率	平均介護度
4	1330	1314	88.7	87.6		3.96
5	1447	1388	93.4	89.5		3.98
6	1420	1369	94.7	91.3		4
7	1441	1363	93	78.9		3.98
8	1461	1332	94.3	85.9		3.96
9	1483	1475	98.7	98.3		4
10	1514	1523	97.6	98.3		4
11	1478	1490	98.5	99.3		3.98
12	1313	1426	84.7	92		3.45
1	1339	1498	86.4	96.6	R5	4.04
2	1301	1369	89.7	97.8	92.5	4.06
3	1409	1506	90.9	97.2	R6	4.1
合計	16936	17053	1110.6	1112.7	92.7	47.51

#### ② 年間要介護度推移状況調べ(実人員)

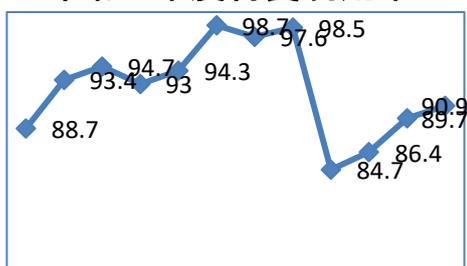
年度平均3.96

月	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4	0	0	14	21	12
5	0	0	13	21	12
6	0	0	13	21	13
7	0	0	13	22	12
8	0	0	13	21	11
9	0	0	14	22	14
10	0	0	14	23	14
11	0	0	14	24	13
12	0	0	14	23	14
1	0	0	14	20	16
2	0	0	14	19	17
3	0	0	13	19	18
合計	0	0	163	256	166

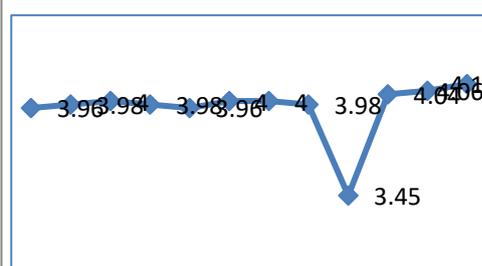
#### ③ 年間要介護度推移状況調べ(実日数)

月	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4	0	0	367	503	444
5	0	0	373	643	372
6	0	0	385	621	363
7	0	0	403	615	345
8	0	0	389	602	341
9	0	0	395	660	420
10	0	0	410	703	410
11	0	0	416	684	390
12	0	0	403	682	341
1	0	0	420	620	458
2	0	0	392	532	445
3	0	0	396	589	521
合計	0	0	4749	7454	4850

令和6年度特養利用率



令和6年度要介護度



2. 利用者状況調べ(令和7年3月31日現在)

① 利用者年齢構成状況調べ

年齢	男性	女性	合計
65歳～65歳未満	0	0	0
65歳以上～75歳未満	0	1	1
75歳以上～85歳未満	5	11	16
85歳以上～90歳未満	1	10	11
90歳以上～95歳未満	2	13	15
95歳以上～100歳未満	0	6	6
100歳以上	0	0	0
合計	8	41	49
平均	83歳 5ヶ月	87歳 10ヶ月	87歳 1ヶ月
最高齢	92歳 9ヶ月	98歳 7ヶ月	98歳 7ヶ月

② 在所期間調べ

	男性	女性	合計
1年未満	2	11	13
1年以上～3年未満	4	12	16
3年以上～5年未満	2	13	15
5年以上～10年未満	0	5	5
10年以上	0	1	1
合計	8	42	50
平均	2年 2ヶ月	3年 0ヶ月	2年 11ヶ月

③ 職員配置状況調べ

職種	常勤	非常勤	
特養施設長(管理者)	1		短期兼務
事務職員	4		
生活相談員	1		短期兼務
介護支援専門員	1		短期兼務
看護職員	3.4	2	
機能訓練指導員	1		
管理栄養士	1		ユニット、短期兼務
介護職員	15.84	3.84	内介護福祉士7名

## 年間利用状況

### 1. 短期入所生活介護

#### ① 利用状況推移調べ

月	延べ日数 (R5)	延べ日数 (R6)	利用率 (R5)	利用率 (R6)	平均利用率	平均介護度
4	3	16	0.01	0.05		2.7
5	6	18	0.02	0.05		2.7
6	0	34	0	0.11		2.83
7	12	17	0.04	0.05		3.75
8	34	12	0.1	0.04		2
9	29	60	0.09	0.2		3.2
10	59	25	0.19	0.08		3.5
11	78	13	0.26	0.04		3.6
12	40	15	0.13	0.05		3.6
1	52	19	0.17	0.06	R5	3.33
2	34	35	0.12	0.13	1.18	3.25
3	15	28	0.05	0.09	R6	3.25
合計	362	292	1.18	0.95	0.08	37.71

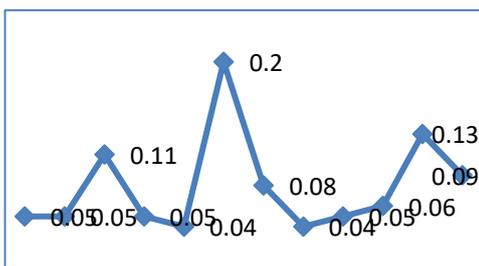
#### ② 年間要介護度推移状況調べ(実人員)

月	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4	0	1	0	1	1	0
5	0	1	0	1	1	0
6	0	2	0	2	1	1
7	0	0	0	2	1	1
8	0	0	2	2	0	0
9	0	0	0	4	1	0
10	0	0	0	4	1	1
11	0	0	0	3	1	1
12	0	0	0	3	1	1
1	0	0	0	2	1	0
2	1	0	0	3	1	0
3	0	0	0	2	1	0
合計	1	4	2	29	11	5

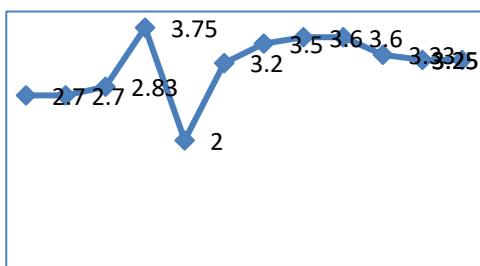
#### ③ 年間要介護度推移状況調べ(実日数)

月	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4	0	6	0	2	8	0
5	0	6	0	4	8	0
6	0	10	0	13	8	3
7	0	0	0	6	8	3
8	0	6	0	6	0	0
9	0	0	0	35	0	0
10	0	0	0	19	1	3
11	0	0	0	8	1	4
12	0	0	0	8	4	3
1	0	0	0	11	8	0
2	1	0	0	26	8	0
3	0	0	0	20	8	0
合計	1	28	0	158	62	16

令和6年度短期利用率



令和6年度要介護度





令和6年度実習受入状況調べ

受入年月日	教育機関名	実習生	備考欄
年月日～年月日			
年月日～年月日			

## 防災関係

今年度の防災に関する取り組みとしては、防火管理委員会を中心として各種訓練、教育及び講習会の充実を図る事で職員の防災意識の向上をめざした。今年度の総合訓練実施時には震災対応の訓練はもちろんの事、各部への火点発生箇所の事前通知制を廃止し、実践的に近い訓練とする事ができた。

また、定期的実施している防災教育についても、非常時の取り組みから消防設備の取り扱い要領等を学ぶ事ができ、より職員の防災意識の向上につなげる事ができた。

### ① 令和6年度消防総合訓練実施状況調べ

開催年月日	想定区分	主な内容	備考欄
令和6年11月20日	夜間	総合訓練夜間(避難、消火、通報)	班員6名、出勤職員
令和7年3月10日	昼間	総合訓練昼間	班員5名、出勤職員

### ② 令和6年度救急蘇生法講習会実施状況調べ

開催年月日	想定区分	主な内容	備考欄
令和7年1月27日		心肺蘇生法、AED扱い要領他	熊本市消防局指導

### ③ 令和6年度消防通報訓練実施状況調べ

開催年月日	想定区分	主な内容	備考欄
令和6年10月17日		非常時の通報訓練	通報訓練のみ

### ④ 令和6年度消火訓練実施状況調べ

開催年月日	想定区分	主な内容	備考欄
令和6年11月20日	夜間	総合訓練実施時の消火訓練	
令和 年 月 日			

### ⑤ 令和6年度防災教育実施状況調べ

防災教育(期)	開催年月日	主な内容	講師
I 期	令和6年8月9日～	スプリンクラー、自家発電設備説明	回覧対応
II 期	令和6年10月～	非常通報装置他消防設備の扱い説明	回覧対応
III 期	令和7年1月27日	救急蘇生法講習会	熊本市消防局

### ⑥ 令和6年度消防設備点検実施状況調べ(自主点検分)

実施状況	主な内容	点検者	備考欄
2ヶ月に1回	消防設備自主点検	村上	

### ⑦ 消防設備点検実施状況調べ(業者委託分)

#### 1. 消防設備関係

点検日	点検業者	主な点検内容
令和6年10月25日	熊本環水	消防設備全般の法定点検
令和7年3月10日	熊本環水	消防設備全般の法定点検・居宅建物

#### 2. 非常通報装置関係

点検日	点検業者	主な点検内容
令和6年9月14日	ジャパンテレコム	非常通報装置の法定点検
令和7年3月10日	ジャパンテレコム	非常通報装置の法定点検

⑧ 防火管理委員会開催状況調べ

開催日	主な内容
令和7年3月19日	議題1: 昼間想定 of 総合訓練及び震災対応訓練の実施後評価。 議題2: 令和7年度消防関係次年度計画(案)について 議題3: その他 →詳細は会議録に記載
令和年月日	

⑨ 消防署立ち入り検査状況報告

検査日	指摘事項	改善事項
令和5年4月28日(令和6年度はなし)	消防設備点検については、法令に基づく定期点検を実施し、その結果を1年に1回報告する必要があります。	定期点検後すぐに、点検業者より結果報告を熊本北消防署長へ提出する形としている。

⑩ 消防計画作成

作成日	消防署提出日
令和6年11月1日	令和6年12月5日

## 研修関係

今年度の研修については、キャリアパスに関する要件としても研修の充実を掲げており、毎月定例の施設内研修に加えて、外部研修についても積極的な参加を促し、職員のスキルアップを図った。

また、様々な事柄を学ぶ事がサービスに関する質の向上を図る事ができると考え、介護技術等に関する研修についても多くの時間を費やすと同時に、基本的な研修開催についても力を入れた。

### 令和6年度施設内研修実施状況調べ

月	日	外部報告・内研修の別及び参加人数	主な研修内容	講師
4	24	内研修 全職員	感染対策(手洗い実践研修)	医務
5	22	内研修 31 名	リスクマネジメント	ユニット介護
6	30	内研修 36 名	褥瘡について	特養介護、PT
7	31	内研修 26 名	褥瘡について	回覧、レポート
8		内研修 全職員	認知症について	回覧、レポート
9		内研修 全職員	権利擁護、身体拘束、介護保険制度	回覧、レポート
10		内研修 全職員	接遇マナー	
11	24	内研修 全職員	スピーチロックとは	回覧、レポート
12		内研修 全職員	褥瘡について	回覧、レポート
1		内研修 全職員	救急蘇生法講習(動画学習)、手洗い実践	レポート
2		内研修 全職員	認知症、専門的レク、リスクマネジメント	回覧
3		内研修 全職員	介護現場における権利擁護	回覧、レポート
3		外部研修29 名	介護現場における権利擁護	回覧、レポート

回覧人数は含めず 年間参加者 122名

### 令和6年度外部研修参加状況調べ(主要研修のみ)

月	日	主な研修内容	参加職員
6	14	熊本市老施協総会	2名
8	22	同和問題研修会	1名
9	4	権利擁護委員養成研修	1名
10	23	LIFE研修会	2名
11	6	施設長、事務長研修会	1名
	7	会計研修会	2名
	14	雇用管理者研修	1名
	21	WEBセミナー(人事評価制度)	1名
12	4	事務長研修会	2名
	12	県老施協総会	1名
1	10	外国人材に関する研修	1名
2	6	レジオネラ感染症研修	2名
	14	育児休業法改正研修	2名
	25	人材定着セミナー	1名
	28	理事長会総会	1名
3	11	介護技術研修会	2名

**感染症対策関係**

今年度の感染症対策としては、施設内に設置している感染症対策委員会を中心として、感染症に関する指針、マニュアルの定期的な見直し、地域での感染症の発症状況の把握等について取り組んだ。新型コロナ感染症については、感染の拡大状況等をその都度確認し、委員会としての対策立案に努めた。

また、職員への感染注意喚起、家族に対しても必要な情報の提供を図り、感染対策への理解を求めた。

令和6年度感染症対策委員会開催状況調べ

月	日	主な議題	出席者
4	1	施設における感染症発生状況について、予防策の確認、委員会、研修・委員会の日程決め他	7名
6	3	地域での感染症発生状況について、予防策の確認、館内行事(健康体操)の実施について	9名
10	4	地域のサロン派遣再開、ユニット運営推進会議の再開について	8名
1	7	施設周辺での感染症流行状況について、家族の面会について	10名

令和6年度感染症対策研修開催状況調べ

月	主な研修内容	出席職員
5	腸管出血性大腸菌感染症について	全職員
7	食中毒予防について	全職員
8	手洗いについて(実践を含む)	全職員
12	ノロウイルスについて	全職員

## 生活相談部門

今年度、生活相談部門では、入居者が日々快適に過ごせるよう、必要な生活援助及び相談業務にあたった。また、入居の方々に悩みや相談等がある時には、随時対応するとともに、安心感を持っていただけるような援助に努めた。

なお、各種委員会活動については、利用者にとってより良い生活環境となるよう、施設全体が活性化できるよう必要に応じて助言等に努めた。

介護サービスに関する苦情受付状況については、小さな要望等はあったが、苦情として検討、対策を講じるような事案はなかった。

入所判定委員会の運用については、公正中立を第一に運用を図るとともに、外部委員の助言等も得つつ適切な運用に努めた。

最後に地域に根差した施設作りのため、地域住民、実習、ボランティア団体の受け入れについても各部と協力しながら積極的に行った。

### ① 入退所状況調べ

月	入居	退居	在復	合計
4	2	0	0	2
5	0	2	0	2
6	1	0	0	1
7	0	0	0	0
8	0	0	0	0
9	5	0	0	5
10	2	2	0	4
11	1	1	0	2
12	1	2	0	3
1	2	0	0	2
2	2	3	0	5
3	2	0	0	2
合計	18	10	0	28

### 苦情発生状況調べ

4月	0
5月	0
6月	0
7月	0
8月	0
9月	0
10月	0
11月	0
12月	0
1月	0
2月	0
3月	0
合計	0

### ② 入居前居住状況調べ

	合計
在宅	0
施設	3
医療機関	8
その他	7
合計	18

外部委員へ報告済

### ③ 身体拘束状況調べ

利用者	性別	要介護	拘束の内容
N・K	男	4	就床時のミトン型手袋使用
家族同意 有			
利用者	性別	要介護	拘束の内容
F・N	女	5	ミトン型手袋使用(終日)
家族同意 有(成年後見人)			

## ケアマネジメント部門

今年度ケアマネジメント部門では、利用者の身体的、精神的な状況を把握するとともに、家族のケアに対する意向を十分に把握する事で、より利用者主体のケア提供とすべくケアプランの作成にあたった。

また、入居時、入院後の退院カンファレンスを開催する事で家族と職員が連携する事ができた。なお、状態が変化した場合にも随時会議を開催し、統一したケアができるよう支援にあたった。

最後に、プラン作成後は必ず家族の同意を得た上でプランを発行する事とし、家族に対してもプランを発行した。

## 介護部門

今年度介護部は、パーソンセンタードケア(その人らしい生活)を念頭に置き、『いつまでも自分らしく暮らしたい』という利用者の思いを重視し、『その人らしさ』を支えるために、個別ケアへの取り組みを進めた。

取り組みの一つとして、女性の排泄ケア時には可能な限り女性職員が付き添う、一定時間での排泄ケアではなく、個々に違いがある排泄感覚に沿って誘導する等の取り組みを行った。(羞恥心への対応)

また、ケアにあたっては利用者本人のみでなく家族との連携を十分に図り、カンファレンス時や面会時に意向等を確認した上で、ケアそのものに反映させた。

### ① 食 事

利用者個々の嚥下能力や摂取能力に応じた食事の提供を進めた。また、状態変化時の迅速な食形態の変更等職種間で連携を保つ事で随時対応する事ができた。また、嗜好調査の結果を踏まえた上で食事内容、形態に工夫を加えた。更に正しい姿勢での食事摂取は誤嚥を予防する効果があるとされている事から、介護機器等を活用し、美味しく楽しく食事をしていただけるよう支援にあたった。

### ② 排 泄

利用者一人一人の排泄形態に応じた排泄ケアが提供できるよう、常に自立支援を第一に考えつつ既存トイレ、PTイレ等を最大限に活用しサービスの提供にあたった。また、排泄への支援は人としての尊厳を守る原点であるとの考えから、プライバシーの保護に留意しながら支援にあたった。

### ③ 入 浴

入浴サービスについては、一般浴、中間浴、特別浴等の入浴設備を最大限活用し、入浴サービスの提供にあたった。

また、サービス提供にあたっては、利用者個々の身体状況等に応じた入浴サービス提供を支援するため、ADL調査での状態確認及び入浴形態確認表での入浴形態を確認をした上で、自立支援につなげる事ができた。

### ④ レク活動

今年度レク活動については、午後の時間を中心に『楽しく元気』を基本に諸活動を行った。また、野外活動や地域の学校等の発表会、運動会等への招待もあったものの、新型コロナ感染流行もあり出席は見送った。

### ⑤ 口腔ケアについて

口腔ケアについては、協力歯科医療機関の協力指導を得、毎食後のケアを継続行う事で口腔内の清潔保持ができ、結果、嚥下力の維持等につなげる事ができた。

### ⑥ 諸委員会活動

#### 1. レク、野外活動委員会

委員会では、レク活動等の活性化により施設生活がより一層活動的となるよう、担当職員を中心に一体となって取り組んだ。野外活動についても感染状況を確認しつつドライブ等を計画し実施した。

また、環境整備委員会では挨拶、身だしなみ、態度、言葉遣い並びに居室の整理整頓等を重点目標として活動を行った。

## 2. 排泄委員会

排泄委員会では、利用者個々の排泄感覚、状態を把握する事で、より個別に対応できるようケアの見直し等を随時行うとともに、プライバシーの保護に十分留意した支援に努めた。

また、入居される方々の高齢化も進んできており、重度化によるオムツ対応者の増加が見られるので、トイレでの排泄が可能ではと判断できる方については、随時トイレ誘導等個々の状況に合わせた支援に努めた。

## 3. 安全対策委員会

安全対策委員会では委員会を大、小委員会に区分し委員会活動を行った。小委員会では各事故、ヒヤリハット事例の報告検討会を実施し、原因の再分析と対策について討議した。

なお大委員会では小委員会での討議事項、事故に対する原因分析、対策評価を行い、必要に応じて対策の変更及び追加の決定を行った。

前年度の介護事故の発生件数は21件であったが、今年度は34件の発生となった。増加の要因としては対策が十分に守られていない事、移乗介助に関しては二人介助の徹底不足等があげられる。

## 4. 褥瘡委員会について

今年度、褥瘡委員会では褥瘡予防を第一に嘱託医、協力医と連携しつつ予防に努めた。褥瘡を予防するために、体位交換やエアーマットの使用、並びに体位交換用マットを利用者の身体的状況等総合的に判断して利活用を進めた。

なお、個々の状況把握として、OHスケールを医務を中心として定期的に作成し、スケールの結果も褥瘡予防のために最大限活用した。

最後に、予防器具等のみに頼るのではなく、定期的な体位交換や栄養管理等多職種で連携し支援に努めた。

## 5. ふるさと巡りについて

入居以前に過ごされていた入居者ごとの地域を巡る等の活動を実施していたが、新型コロナウイルス流行により開催を見合わせている。

令和6年度介護事故状況調べ

月	転倒・転落	表皮剥離・外傷	骨折	誤薬	誤配膳・誤嚥	その他	備考
4月	0	0	0	0	0	0	
5月	2	3	0	0	0	0	
6月	0	5	0	0	0	0	
7月	1	0	0	0	0	1	その他:異食
8月	2	1	0	1	0	1	その他:誤配膳
9月	2	0	0	0	0	0	
10月	1	3	0	0	0	0	
11月	0	1	0	0	0	1	
12月	0	5	0	1	0	0	
1月	0	0	1	0	0	0	
2月	0	0	0	0	0	0	
3月	0	1	0	0	0	1	
合計	8	19	1	2	0	4	

## 看護部門

今年度、看護部門は利用者の日々の健康管理に重点を置き日常の業務にあたった。また、体調不良等の早期発見、早期対応に努め嘱託医と連携しつつ早期治療につなげる事ができた。なお、感染症に対する対応としては、対策研修によって、様々な感染症に対する基本的知識、予防策等の学びの場として活用した。

また、入院者の原因疾患は肺炎、内臓疾患等が多かった事を最後に付記しておく。

### 1. 嘱託医回診状況調べ

### 2. 協力医往診状況調べ

月	回数	人数	計	月	回数	眼科	歯科	受診	計
4月	4	44	176	4月	1	0	2	3	
5月	5	45	225	5月	2	0	0	2	
6月	4	45	183	6月	4	0	1	5	
7月	4	43	175	7月	4	0	0	4	
8月	4	43	174	8月	0	0	1	1	
9月	4	49	196	9月	3	0	0	3	
10月	5	49	245	10月	5	1	0	6	
11月	4	49	199	11月	5	0	1	6	
12月	4	47	191	12月	6	0	0	6	
1月	4	48	195	1月	1	0	0	1	
2月	4	48	195	2月	8	0	0	8	
3月	4	49	196	3月	6	0	1	7	
計	50	559	2350	計	45	1	6	52	

### 3. 受診状況調べ(外来)人数(嘱託医)

	内科	外科	整形外科	皮膚科	循環器科	耳鼻咽喉科	神経内科
4月	5	0	1	2	0	0	0
5月	1	0	0	0	0	0	0
6月	3	0	1	0	0	0	0
7月	2	0	0	5	0	0	0
8月	2	0	1	2	0	0	0
9月	3	0	0	6	1	0	0
10月	4	0	1	3	0	0	0
11月	5	0	0	2	0	0	0
12月	2	0	3	5	0	0	0
1月	4	0	3	2	0	0	0
2月	8	0	0	0	0	0	0
3月	8	0	0	0	0	0	0
計	47	0	10	27	1	0	0

### 受診状況調べ(外来)人数(嘱託医以外)

	内科	外科(整形)	精神科	脳神経	神経内科	循環器科	婦人科	泌尿器科
4月	3	1	2	0	0	0	0	2
5月	1	0	1	2	0	0	0	1
6月	1	1	2	1	1	0	0	1
7月	0	1	1	0	0	1	0	2
8月	1	1	1	1	0	0	0	2
9月	0	2	0	0	0	0	0	2
10月	0	2	2	0	0	0	0	1
11月	0	2	1	2	0	0	0	1
12月	0	1	3	0	0	1	0	2
1月	0	3	0	0	0	0	0	1
2月	0	1	3	0	0	0	0	4
3月	2	1	0	1	0	0	1	2
計	8	16	16	7	1	2	1	21

受診状況調べ(外来)人数(嘱託医以外)

	皮膚科	歯科
4月	0	0
5月	0	0
6月	0	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	0	0
10月	0	0
11月	0	1
12月	0	0
1月	0	0
2月	1	0
3月	1	0
計	2	1

4. 利用者健康診断状況調べ

実施日	胸部(X線)	心電図	採血	検尿	予防接種		
					混合インフル	コロナワクチン	肺炎球菌
令和6年6月14日	46						
令和6年6月25日		44	44				
令和6年9月24日～10月2日				49			
令和6年10月28日		48	48				
令和7年1月20日～27日				49			
令和6年10月31日・11月4日					48		
令和6年11月28日・12月12日						43	

5. 職員健康診断状況調べ

実施日	協会けんぽAコース	定期Aコース	法定コース	腰椎検査	予防接種	
					混合インフル	コロナワクチン
令和6年5月8日	31		14	20		
令和6年10月30日			26	22		
令和6年11月18日					47	
令和6年11月28日・12月12日						10
令和 年 月 日						

混合インフル接種の内は 12名は産業医以外での接種

ストレスチェック

実施日	実施内容	判定結果
令和6年6月10日～23日	職員53名中提出職員17名	高ストレス該当者は4名／面接無

## 機能訓練部門

今年度機能訓練部門では、利用者の身体状況に応じたADL評価等に基づいた機能訓練計画書を作成し、機能訓練の充実を主眼に置いてサービス支援に努めた。

また、サービス提供にあたっては、家族または本人への計画書の説明と同意を得る事を徹底するとともに、多職種で連携する事でより活動的な日常生活を送る事ができるよう援助にあたった。

なお、リハビリについては、日常生活動作訓練を主体としつつ、利用者の状況に応じて、歩行、起立等の訓練も随時行えるよう支援し、残存機能を活かした生活が実現できるよう努めた。

## 給食部門

今年度給食部門では、常に利用者の健康状態並びに栄養状態に配慮した給食サービスの提供に努めた。

1. 栄養ケア、栄養マネジメントを充実させる事により低栄養状態の改善に努めた。
2. 利用者個々の嚥下能力等を適切に把握する事で、個々の状況にあった食形態を提供する事ができた。
3. 適時適温給食サービスを提供する事で、より家庭での食生活に近づける事ができるよう支援にあたった。
4. 定期的な嗜好調査並びに誕生日時での希望食等により、『選ぶ楽しみ』を持つ機会作りとともに献立作りに努めた。
5. 衛生管理について、食中毒の予防はもちろんのこと、安全安心な食材選定に細心の注意を払いながら日常業務にあたった。

### 令和6年度行事食等状況調べ

月	内 容
4月	花見弁当
5月	端午の節句料理
6月	運動会弁当、慰霊祭精進料理、おはぎ作り
7月	土用丑の日
8月	お盆精進料理
9月	敬老祝賀会祝い膳
10月	
11月	
12月	クリスマス・忘年会、年越しそば
1月	おせち料理、七草粥、鏡開き
2月	節分料理
3月	ひな祭り料理、創立記念日祝い膳、花見弁当

水質検査実施状況調べ

回数	実施年月日	採水場所	結果	
第1回	令和6年2月15日	浴槽水	異常なし	レジオネラ属菌に関する検査
第2回	令和7年2月6日	浴槽水	異常なし	レジオネラ属菌に関する検査
第3回	令和6年2月27日	井水	異常なし	井戸水の原水検査

貯水槽清掃実施

実施年月日	
令和7年2月18日	委託業者実施(清掃記録あり)

令和6年度食種別食数状況調べ【特養】

月 食種	米 飯						合計
	常食	刻み	小刻み	極小刻み	ペースト	流動食	
4月	180	580	691	140	371	120	2082
5月	186	572	600	142	501	124	2125
6月	180	630	539	188	573	136	2246
7月	186	634	557	186	604	129	2296
8月	139	559	603	244	651	149	2345
9月	179	450	718	270	719	180	2516
10月	186	465	743	279	671	186	2530
11月	174	420	745	261	542	174	2316
12月	202	372	743	279	515	186	2297
1月	279	372	811	279	502	155	2398
2月	252	336	744	252	504	168	2256
3月	301	371	756	252	436	168	2284
合計	2444	5761	8250	2772	6589	1875	27691
平均	203.7	480.1	687.5	231	549.1	156.3	

月 食種	全 粥						合計
	常食	刻み	小刻み	極小刻み	ペースト	流動食	
4月	90	180	360	1164	371	120	2285
5月	93	186	300	1389	501	124	2593
6月	90	180	270	1244	573	136	2493
7月	93	186	279	1163	604	129	2454
8月	93	186	279	1105	651	149	2463
9月	90	180	359	1184	719	180	2712
10月	93	186	433	1229	671	186	2798
11月	87	174	435	1218	542	174	2630
12月	93	186	465	1301	515	186	2746
1月	93	186	465	1268	502	155	2669
2月	84	168	420	1092	504	168	2436
3月	84	168	407	1092	436	168	2355
合計	1083	2166	4472	14449	6589	1875	30634
平均	90.3	180.5	372.7	1204.1	549.1	156.3	

令和6年度食種別食数状況調べ【短期】

月 食種	米 飯						合計
	常食	刻み	小刻み	極小刻み	ペースト	流動食	
4月	28	0	0	0	0	0	28
5月	22	0	0	0	0	0	22
6月	24	27	0	0	0	0	51
7月	0	13	0	0	0	0	13
8月	14	13	0	0	0	0	27
9月	88	71	0	0	0	0	159
10月	26	30	0	0	0	0	56
11月	9	10	9	0	0	0	28
12月	12	7	8	0	0	0	27
1月	31	15	0	0	0	0	46
2月	58	21	0	0	0	0	79
3月	32	28	0	0	0	0	60
合 計	344	235	17	0	0	0	596
平 均							

月 食種	全 粥						合計
	常食	刻み	小刻み	極小刻み	ペースト	流動食	
4月	0	0	0	0	20	0	20
5月	0	2	0	0	20	0	22
6月	0	7	0	0	20	0	27
7月	0	7	0	0	20	0	27
8月	0	0	10	0	0	0	10
9月	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	16	10	0	80	0	106
平 均	0	1.3	0.83	0	6.67	0	















